

日塗工 整理No.(日塗工記入)		2015-18		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所							
災害発生日時		2014年 12月 8日(月) 5時 20分		天候(晴)		温度(°C)湿度(%)	
災害区分		不休災害		休業災害 (休業:5日)			
被災者	部門	製造部門		雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他()			
	年齢	47 歳	性別: (男) 女	勤続年数	26年	経験年数	26年
	傷病名	病名 (熱傷)					
	傷病部位	右腕					
災害発生状況	被災者は別の作業員から、モノマー原材料が計量槽から反応槽に排出できないとの連絡を受け、復旧作業を開始した。			状況概略(写真orイラスト)			
	①まず、反応槽内を減圧し排出を促したが排出できなかった。						
	②原材料押し出し用として仕込みバルブ下に設置されているバルブからエア圧を配管内に掛けたが詰まりは解消されず、						
	③エア注入バルブを開けたままエアホースのカプラを外し、番線を通すと番線の先端に原材料が付着した。						
	④しばらく番線で突いたが詰りは解消せず、						
	⑤再度カプラを装着しエア圧を掛けたが、詰りは解消しなかったため、						
⑥エアバルブを閉めない状態で再度カプラを外したところ、原材料が100~200g吹き出し、火傷した。(配管はスチーム二重管となっており液温は80~100℃だったと推定される。)							
災害の型 ^{※1)} : 7 高温物との接触				作業の形態: 定常 (非定常、その他())			
起因物: 配管(閉塞状態)				特記事項 特になし			
原因分類	1. 人的要因(man): 当該作業に対するKY不足(残圧に対する認識不足)						
	2. 物に関する要因(machine): 配管閉塞時に対応しにくい						
	3. 環境要因(media): 非定常作業						
	4. 管理的要因(management): 作業手順なし						
対策	①非定常作業の前にはKYを確実に実施し、安全を確認して、作業開始するように再教育を実施した。						
	②斜め上正面方向に向いていたエアホース接続配管を下向きにし、作業員に向かって液体原料が噴出することを防止した。						
	③仕込配管の閉塞物排除が出来るように、Y字の配管を取り付け、閉塞対応出来るようにした。						
	④初期原料仕込前に、配管が貫通していることを窒素封入音で確認後、原料仕込みを開始するように周知徹底した。						
対策分類 ^{※2)} : 1-2 災害・事故の想定と対応、1-3 リスクアセスメント、1-4 安全設計、1-6 教育、2-1 マネジメント、2-4 危険認識							

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)